

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和03年01月07日

計画の名称	堺市における P F I 手法を活用した地域のにぎわいを創出する都市公園の整備													
計画の期間	平成 3 0 年度 ~ 平成 3 0 年度 (1年間)												重点配分対象の該当	○
交付対象	堺市													
計画の目標	本計画は、近畿大学医学部及び附属病院の堺市南区泉ヶ丘地区への移転に伴い、移転予定地にある泉ヶ丘プールを堺市南区梅・美木多地区の原山公園に移転することを契機に、原山公園の活性化を通じて、梅・美木多駅周辺の賑わいの創出に寄与することを目的とする。本計画の要素事業は民間事業者が公園施設の設計業務、建設業務及び工事監理業務を一貫して行う P F I 手法により実施する。													
全体事業費（百万円）	合計（ A + B + C + D ）		60	A	60	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A + B + C + D ）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30		H30末
1	・原山公園再整備に関する実施設計を完成させる。			
	・原山公園再整備に関する実施設計の進捗率（ % ）	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
平成31年度より、都市再生整備計画事業の社会資本総合整備計画「梅・美木多駅前周辺地区における日常生活の利便性と賑わいの創出」へ移行。												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	堺市	直接	堺市	-	-	都市公園事業（原山公園）	実施設計、公園整備 7.8 h a	堺市	■					60	1.45	未策定	
												小計						60		
											合計						60			

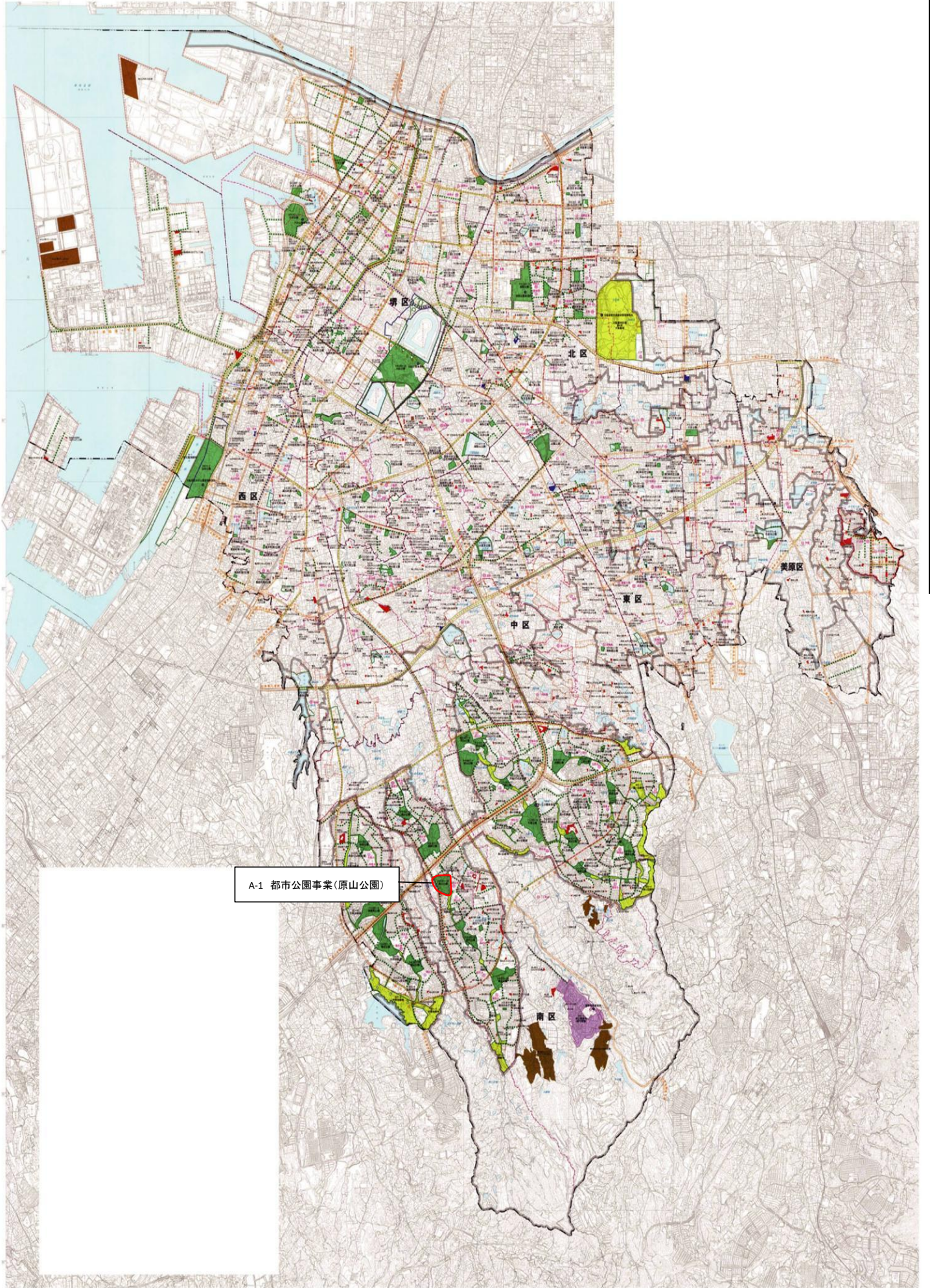
交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	30				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	30				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	30				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面

計画の名称	堺市におけるP F 1手法を活用した地域のにぎわいを創出する都市公園の整備		
計画の期間	平成30年度 ～ 平成30年度 (1年間)	交付対象	堺市



事前評価チェックシート

計画の名称： 堺市におけるPFI手法を活用した地域のにぎわいを創出する都市公園の整備

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 1) 堺市総合計画の方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性 2) 関連する各種計画との整合性が確保されている。(都市計画マスタープラン、地域防災計画、緑の基本計画等)	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 1) 本市の課題を踏まえた目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 1) 整備計画の目標と定量的指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 1) 定量的指標は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 2) 定量的指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 1) 計画の目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 2) 定量的指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 1) 十分な事業効果が確認・期待されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 2) 計画について住民や民間事業者等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 1) 住民等から事業実施についての要望がある。	○